

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>ピュアロール・ナノデス</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.460</b>	△RG <b>0.060</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：ピュアロール・ナノデス**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  
**4-1/2** インチ

MB

4in 1/2

**比較対照ボール：ピュアスウィング2・ナノデス**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

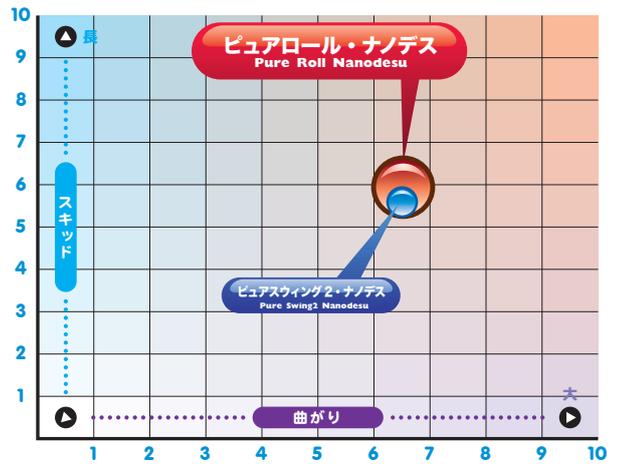
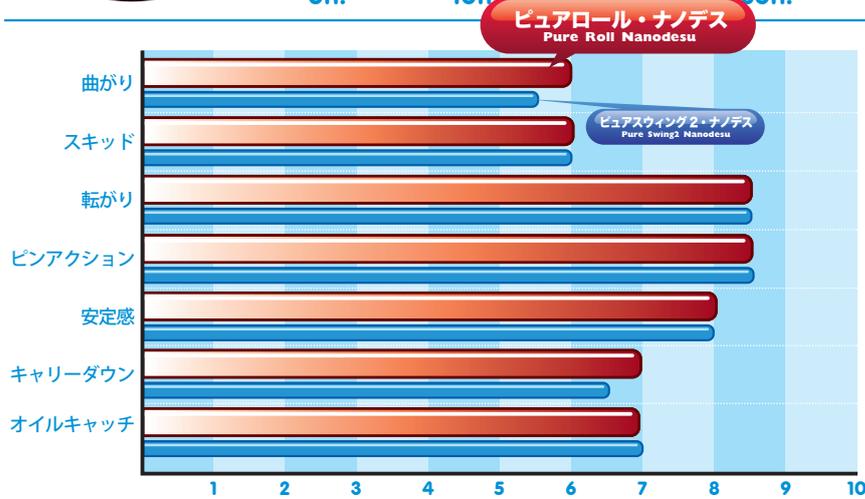
PAPからピンとの距離  
**4-1/2** インチ

MB

4in 1/2



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

前回ウレタン素材PURE-SWING 2が発売されたのが2015年1月でした。それから月日が流れること2年。PURE-ROLLとしてウレタン素材のボールが発売です。Premium Pure Urethane With Nano/fullereneC60は、ピュアウレタン素材に Nano Fullereneを混入させてウレタン素材の凹凸にNanoレベルの凹凸を加えることで、特殊なRa(ラフネスアベレージ)値を得られることが特色です。そのウレタンの心臓部に入るのがModified VVI core With Magnet。Magnet構造にする利点はCore比重変化によるRG、△RG幅を広げられること、Coreとインナーシェルの結合をより強めることでピンアクションの向上を担う役目もあります。みなさんご存知の通り、ナノデスを作成する日本エポナイト社の製品はすべてにおいて衝撃吸収システムが採用されていますので、衝撃吸収+Magnetでさらにピンアクションは良くなっていると思って頂いて良いと思います。

今回の比較投球はPURE-SWING 2と行いました。投げ比べてみるとPURE-ROLLの方がやや早めにHookに入るイメージがあります。もちろん表面仕上げも違いますが、素材自体新たなウレタンを採用していますので、その部分での摩擦が強まっています。現代はウレタン素材の使い道が様々な用途で考えられ、しっかりとオイルがある状態でも特定のコンディションで使用されることを前提に作られたモデルもあります。それはやはりスポーツコンディションが増えてきたのが主な理由でしょう。その中でも共通して言えるのがウレタン素材の緩慢な反応を活かし、ドライゾーンでの過激な反応を避けることであると思います。PURE-ROLLも同じく性能重視でグリップ力が高いReactiveが主流となる中、過激な反応を避けたいときに役立つ性能をコンセプトとして開発されています。ABSのウレタン素材のボールを待ち望んだ方お待たせ致しました。ぜひこの機会にご検討ください。

### 特記事項

**約2年ぶりにウレタン素材のボールが発売です。**  
**クリーンな走りと緩やかな軌道で後半の荒れたコンディションを制覇してください。**